



WAKABA no WA

わかばの

○68号

2025年1月発行

〔 病院理念 〕

- ・常に人命の尊重と人間愛に基づいた医療・介護につとめます。
- ・全ての人に平等に心身両面にわたる医療・介護につとめます。
- ・地域の人達から信頼されるよう研鑽と協調をすすめます。

日本医療機能評価機構認定病院

医療法人社団 良俊会

ふくの若葉病院

新春のご挨拶



明けましておめでとうございます。

当院が福野の地に開院してから今年4月で25年目を迎えます。四半世紀にわたり、ご指導、ご協力をいただいている各医療機関並びに諸施設、利用してくださっている地域の方々に厚くお礼申し上げます。

昨年は、元旦早々の能登半島地震発生に始まり、医療業界も色々揺れ動いた年でした。当院でも、地震で被災され療養の場を失った方々をお引き受けしました。ほとんどの方は秋ごろには地元に戻りましたが、一部の方はご家族のご希望もあり、まだ当院で療養を続けておられます。残された患者さんや、遠方から面会に来られるご家族の心情は如何ばかりかと職員一同心を痛めております。一日でも早く日常が戻ってくることを願って止みません。

当病院の基本姿勢は、「地域の皆様から信頼され、地域になくてもならない病院、地域の皆様の病院であること」です。この精神に則って、昨年、人工透析が必要な患者さんを初めてお引き受けしました。最初は初めてのことでばかりで戸惑いでしたが、医療機関同士の連携で一つ一つ問題解決に至っております。この場を借りまして改めて関係方々に厚く御礼申し上げますとともに、今後ともよろしくお願い申し上げます。

また、12月には新型コロナウイルス感染症クラスターが発生し、全面的な面会禁止の苦渋の選択をせざるをえませんでした。それまで徐々に規制緩和してきた面会制限に逆行することになり、患者さんやご家族にご心配とご迷惑をおかけし大変申し訳なく思っております。私どもとしては、院内から感染者を一人も出さないように最善の注意と努力をいたす所存ですが、これも皆様のご協力なくしては達成できませんので、何卒ご理解の程よろしくお願いいたします。

昨年は、嵐のような一年でした。一年を振り返って漢字で表すと、「絆」と「連携」を挙げたいと思います。今後も病院の質を上げ、より良い医療・看護・介護を提供できるように、職員一同励んでまいりますので、ご鞭撻、ご協力のほどお願い申し上げます。

最後になりますが、今年が皆様方にとって明るい、良い年でありますように祈念しております。

病院長 三宅 早苗



慢性期医療学会発表

11月14日・15日に横浜で開催された
『第32回 日本慢性期医療学会
“ 治し・支える ” 良質な慢性期医療
～サイエンス・アートの調和と統合～』
に、2演題エントリーしました。

2階病棟看護職員から「認知症ケア」に関する
症例研究に取り組み、学会発表に挑戦したいと
申し出があったのが昨年末。病棟師長が、共同
研究者として研究活動を手伝い、発表助言者として共に学会に参加しました。

看護部長は、5年前から今日まで取り組んだ業務改善の実際と、その成果を発表
しました。



このような大きな学術集会への参加が
はじめての若手職員2人でしたが、堂々
と研究成果を発表していました。

会場からの質問にも適切に答えており、
安心して側にいることができました。

病棟師長より



久しぶりに、様々な視点で取り組まれた研究発表を聴講し、日常の仕事だけでは学べないことを「見・聞き」することができました。

今後は職種を問わず、多くの職員が研究に取り組んだり、他施設や関連機関の方との交流を広げたりしながら、研鑽に励むことができれば良いと思えた時間でした。



看護部長の発表では、病棟職員みんなであれこれ業務改善に取り組んだ時のことを振り返りながら聴いていました。

看護・介護現場で働く職員からの提案は、具体的で実現し易い対策であり、効率性や経済性を高めることに繋がったと、あらためて実感できました。

学会発表した演題の内容の一部を簡単に紹介します。

「認知症ケア」

90歳代女性 高度アルツハイマー型認知症と思われるA氏は、拒食の為、補液が必要な状態で、大声を出す、オムツを外す、点滴を自己抜去するなどの問題行動があり、試行錯誤しながら対応を続けた。
その結果、経口摂取が可能となりポータブルトイレでの排泄など、A D Lの向上も認めた。

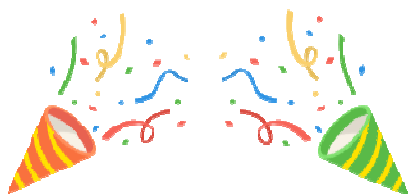
「労働環境改善による職員の定着」

人員の確保を急務と捉え、業務改善委員会が中心となり労働環境の改善に取り組んだ。活動を見える化したことで職員の意欲向上につながり活気ある風土が作られ離職者を抑えることができた。人手不足が進む時代に備え、労働環境の改善は職員一人ひとりの持続可能な働きかけにつながると考える。

発表したポスターはエントランスに掲示しています。ホームページにも掲載予定です。

100歳のお祝い

通所リハビリテーションの利用者さんが100歳を迎えられました。
通所リハビリテーションのみんなで、盛大にお祝いしました。



わかば出前講座

地域住人の皆様の健康生活を支援するため、「わかば出前講座」を行っています。南砺市内のサロンや地域の集まりなどご利用いただいています。

「転倒予防」「認知症予防」「口腔ケア」「漢方について」など様々なテーマで開催しており、毎回大盛況です。



超音波診断装置の更新

ポータブル型の超音波診断装置を導入しました。
タブレット型で持ち運びやすくなり、
外来・入院患者さんの診断に活躍しています。



腹部エコー、頸部血管エコーなどの
簡単な検査ができます。

おなかの痛みがある方、
肝機能異常を指摘された方、
動脈硬化が気になる方など、
気になる症状があれば
エコーにて画像診断ができます。

まずはご相談ください。

診療内容・診療時間・アクセスマップ

● 診療科

内科、漢方内科、神経内科、
リハビリテーション科

● 外来診療

午前：9:00～12:00

午後：13:00～16:00

	月	火	水	木	金
午前	● ○	●	● ○	●	●
午後	●	● ○	●	● ○	●

● ……通常外来 ○ ……漢方外来

● 休診日

土曜、日曜、祝祭日、
お盆(8/14～16)、年末年始(12/30～1/3)

● アクセスマップ



健康診断ならびに各種ワクチン接種も受け付けています



日本医療機能評価機構認定病院

医療法人社団 良俊会

ふくの若葉病院

〒939-1521 富山県南砺市苗島367番地
TEL 0763-23-1011 FAX 0763-23-1020

インターネットで検索ください！！

<ホームページ>

<http://www1.tst.ne.jp/wakaba/>

<ブログサイト>

<http://fukunowakaba.blogspot.jp/>

<YouTube>

https://www.youtube.com/watch?v=p_zMe3MLFRw

